

長岡拠点のスーパーツチダ

破産手続きを申請

長岡市を拠点に八店舗を展開する中堅食品スーパー「スーパーツチダ」(同市・土田直久社長)が二十日、地裁長岡支部に破産手続き開始の申請

をした。負債総額は約二十三億円。県内スーパーでは二〇〇二年のまるよし(三条市)以来の大型の経営破たんとなった。

(関連記事5面に)

信用調査会社の東京商工リサーチと帝国データバンクによると、同社は一九四六年創業。長岡市内のほか、一時は柏崎市や燕市などに店舗展開を図り、ピーク時で十一店舗、百十七億円の売り上げがあった。

しかし、二〇〇〇年から柏崎市や燕市など出店先のショッピングモール

運営会社が破たんするなどし、多額の保証金が回収できない状態となり資金繰りが悪化。7・13水害や中越地震などで被災した店舗が閉鎖に追い込まれたことも、経営環境悪化に拍車を掛けた。従業員数はパートも含め二百四十九人。